

IoTとSigfox通信システムによる「食の安全」の見える化へ

食品の物流環境をより安心・安全に、そして効率的に監視・管理するシステムが、IoTとSigfox通信システムによる「見える化」のサービスです。

IoTセンサーデバイスから届く稼働状況のデータは、クラウド上に収集され、管理者に送られます。稼働状況の見える化により、リスクの軽減だけでなく、分析や活用によって、安心・安全の品質管理を支えています。



食の安全の見える化へ



IoT & sigfox

による「見える化」で 物流管理の効率化を

IoTを駆使した倉庫内の在庫管理や輸送の効率化、労働力不足の解消、資源やエネルギーの有効活用がさらに促進されます。



IoT & sigfox

による分析・活用で 宅配サービスの質の向上へ

稼働状況の見える化により、時間帯による交通状況、開閉状況、適正な温度監視で、安心・安全の宅配サービスが向上します。



設備や物流現場の稼働状況の「見える化」をカスタマイズいたします。
ぜひご相談、お問い合わせください。

サービス提供・お問い合わせは

 **オリエント商事株式会社** 開発営業本部 第二営業部 TEL.03-3523-1406 (直通)

配達状況と庫内温度の監視も運ぶ 保冷ボックス用通信システム **おんそく**

食品の物流は変革の時を迎え、安全に配送するだけでなく、チルド需要やEC(ネット・通販)の拡大により、通販業者をはじめスーパー、コンビニなどが宅配サービスの取り扱いを開始しています。

こうした宅配市場の拡大により「ラストワンマイル」の生鮮・チルド食品や医療品の温度管理を可視化するのが、保冷ボックス用通信システム「おんそく」です。

「見える化」で、配送地域や庫内温度など搬送中の情報を確認できます。



Sigfox 通信デバイス

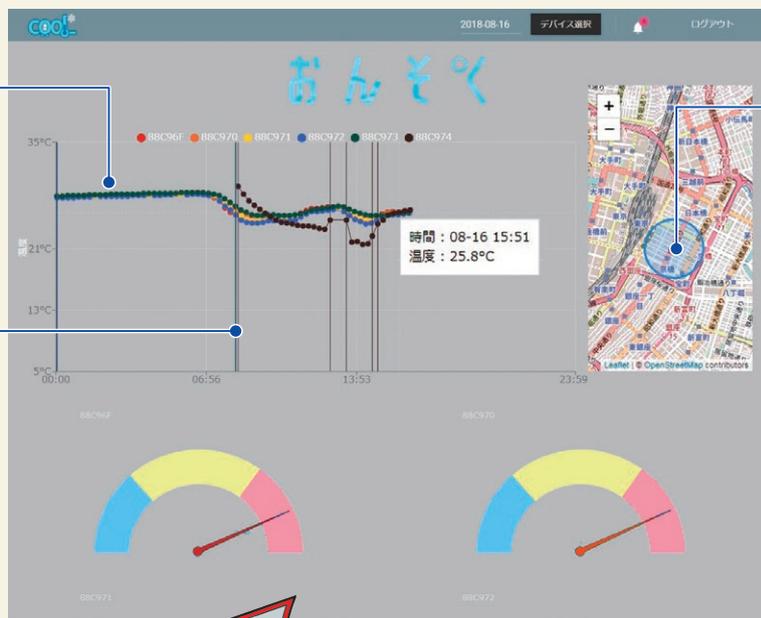
位置情報、温度測定、BOXの開閉などを検知し、配送中の情報を発信します。通信デバイスには、モバイル型と据え置き型があります。

温度・位置・開閉情報は、通信デバイスからクラウド上に収集され管理者に送られます。

1 温度監視 (アラート機能)

デバイスごとの温度推移をグラフ化

一定温度を超えた場合は、通知されます。



2 位置管理 (ジオロケーションシステム)

任意のプロットをクリックすることで、詳細データと位置情報の確認が可能

現在地域を地図上に配置します。

3 開閉の監視

扉の開閉時にはプロットに縦線が反映される

配送事業者の負担、配送時の事故の軽減につながります。



一定温度で配送が必要な
生鮮・チルド食品や
医薬品に最適!



生鮮・チルド食品

医療品

ネットワークは sigfox

IoTに特化したSigfoxネットワークを利用することで、低コスト、低消費電力、長距離伝送を可能にしました。これにより「安価」「小型」「使い易さ」を実現。食品の「温度監視」が徹底されます。

仕様

■保冷ボックス サイズ: 外寸 W530×H320×D365mm (内寸 W460×H250mm×D275) / 重量: 約 2.8kg (保冷剤含まず) ■通信部分 型名: ONSK-M / サイズ: W88×H160 (アンテナ含む本体 145mm) × D25mm / 重量: 260g / 使用電池: 単 3×2 本 / 通信規格: Sigfox / 入力: サーマスタ / 温度測定範囲: -20 ~ 100°C (±0.5°C) (但し 0 ~ 30°Cにおいて) / その他: リードスイッチによる BOX の開閉の検知が可能 / 拡張機能 GPS センサ (開発中) / 防水機能 ■おんそくモニタリング [Safari] Mac 11.1.2 以降 / iOS 11.0 以降 [Chrome] Mac, Win 68.0.3440.84 以降 [Edge] Win 42.17134.1.0 以降

■ サービス提供

オリエン特商事株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目20番8号 八丁堀綜通ビル8階

電話 03-3523-1406 (直通) FAX. 03-3523-1432

03-3523-1400 (代表)

ホームページ <http://www.orientshoji.co.jp>